

平成 17 年度

時間外電話相談

「育児もしもしキャッチ」

相談情報分析結果報告

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成 13 年 11 月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、県民の健やかな子育てを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」(以下、「育児もしもしキャッチ」)を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日で開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成 15 年 5 月より火曜日から土曜日で実施している。

#### 「育児もしもしキャッチ」

主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児に関する相談
開設日時	火曜日から土曜日 午後 5 時から午後 9 時まで (4 時間)
相談スタッフ	保健師、助産師、看護師、保育士の専門相談員 2~3 人がローテーションで対応
相談体制	当センターの保健師 1 名が遅出勤務をし、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割と緊急性のある相談の場合に当直医師へ相談する等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の住所、年齢、どこで相談を知ったかの相談経路を聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。

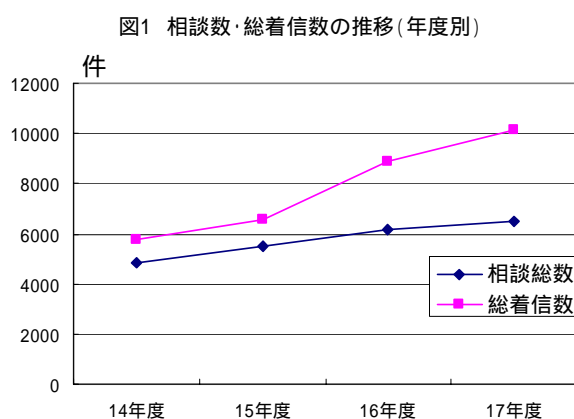
#### 【分析対象・方法】

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

#### 【結果】

##### 1 相談総数・総着信数について

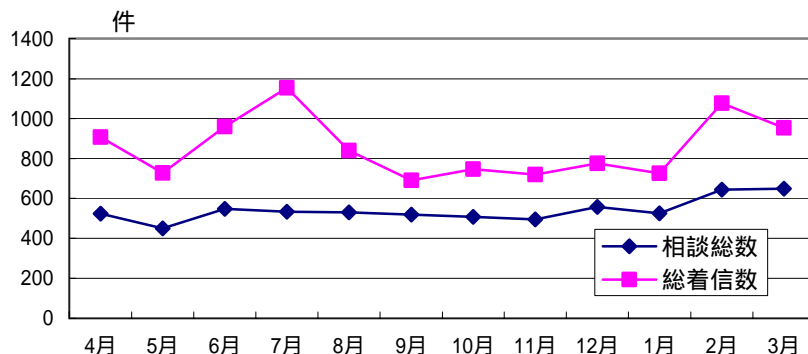
期間中の相談総数は 6,478 件、総着信数 (電話に回答中のため回答できなかった回答不能件数をあわせたもの) は 10,137 件であった。相談総数、総着信数とも年々増加しているが特に回答不能件数の増加が目立ち、県民のニーズを充足できていない状況がある (図 1)。



月別の相談数・総着信数の推移は、図 2 のとおりである。月

別の最多相談数は 649 件、1 ヶ月の平均相談件数は 540.0 件であり、最も多かった 1 日あたりの相談数は 46 件であった。

図2 相談数・総着信数の推移(月別)



## 2 地域・相談経路について

### (1) 利用者の居住地について

相談者の居住地が把握できた 5,902 件についてみると、県下全域から相談が寄せられていることが分かった。市町村別では、名古屋市からの相談件数が 1,170 件と最多で、以後岡崎市、豊田市、春日井市、一宮市、豊橋市と続いた。出生 1,000 に対する割合をみると大府市の 284.7 が最多で、次いで阿久比町の 268.0 であった(資料:表 1)。

### (2) 経路について

相談全体では「利用経験あり」が 48.2%で最も多かった。「利用経験あり」は平成 14 年度(平成 13 年 11 月から 15 年 3 月、以下同じ)は 2.2%、平成 15 年度は 9.1%、平成 16 年度は 37.1%と増加している。相談総数の増加とともに、利用経験者も増加している。

はじめてと思われる相談者の経路をみると市町村(保健福祉)が 13.2%と最も多かった。これは、電話相談を周知するために市町村等の協力を得て配布している「案内カード」を活用して、相談してきたと考えられる(資料:表 2)。

## 3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者(電話をかけてきた人)の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門家、その他と分類しているが、母からの相談が 88.1%と最も多かった。(資料:表 3)。

相談対象者は「子ども」が 6,095 件(94.1%)で最も多く、「孫、姪、甥」の 50 件(0.8%)を加えた「子ども」の相談は 6,145 件(94.9%)であった。「母本人」の相談は 257 件(4.0%)であった(資料:表 4)。

相談対象者の年齢は、0 歳が 42.9%で最も多く、1 歳では 0 歳の 4 割程度減少し、2~3 歳では 1 歳の半分に、4~5 歳では 1 歳の 4 割程度に減少していた。その後は年齢とともに減少していた(図 3)。

0 歳の中では 4 ヶ月が最も多く、4 ヶ月を境に件数は減少していた(図 4)。

図3 相談対象者の年齢

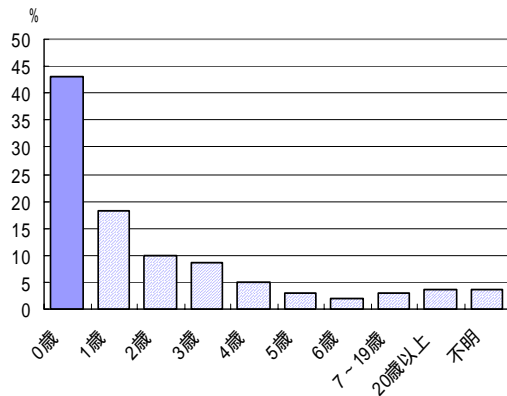
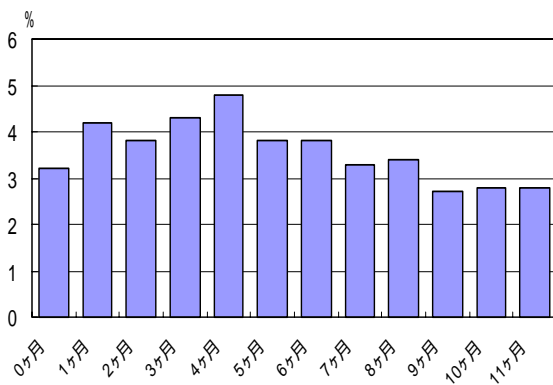


図4 相談対象者の年齢(0歳児再掲)



#### 4 相談の時間帯・所要時間・曜日について

##### (1) 時間帯・所要時間について

相談の時間帯は17時台が1,775件(27.4%)と最も多く、次いで18時台1,604件(24.8%)、19時台1,547件(23.9%)、20時台1,536件(23.7%)であった。

相談の所要時間は、15分未満が約8割で、そのうち5～14分が5割強を占めていた。いずれの時間帯でも同様の傾向を示した(資料:表5)。1回の相談の平均所要時間は10.9分であった。最長の相談は95分であった。

##### (2) 曜日について

曜日別に1日あたりの相談件数をみると平成15年5月から開設している土曜日の相談総数が20.9件と最も少ないが、15年度は10.7件、16年度は16.9件と年々増加していた。火曜日から金曜日までの平日では、他の曜日に比べ金曜日が少ない傾向がみられた(資料:表6)。

#### 5 相談内容について

##### (1) 相談内容について

相談員が相談記録作成時に分類した相談内容では、「育児相談」が6,071件(93.7%)と最も多く、次いで母性相談の278件(4.3%)であった。女性の心と体の相談は、15年度は0.5%、16年度は1.0%、17年度は1.2%と増加している。その殆どが母自身の心身の不安定さに関する相談であった(資料:表7)。

「育児相談」6,071件の内訳は「子どもの病気、手当て」が2,448件(40.3%)と最も多く、次いで「日常生活」の677件(11.2%)、「事故相談」の653件(10.8%)であった。

曜日別では、土曜日に「子どもの病気、手当て」の相談の割合がやや高く、「日常生活」、「性格・行動・社会性」の相談の割合が低い傾向があった(資料:表8)。

## (2) 育児相談の内容について

育児相談 6,071 件の主な内容について資料:表 10 に示した。内容について、各年度毎に大きな差はなく、母親達の不安や悩みが共通していることが分かる。

### 1) 「子どもの病気、手当て」 2,448 件 (40.3%)

現在起きているかぜや消化器等の症状について、受診の要否や具体的な手当てのアドバイスについての相談が多かった。その他、子どもの身体の状態について正常なのかと確認や不安を訴えてくる内容の相談も多かった。

(相談例)

- ・ 1 歳、昨日から 38 の発熱。今、40 になった。食欲あり、元気もある、薬も飲んだ。受診したほうがよいか。
- ・ 7 ヶ月、先月終りから便秘気味。1 週間出なくて病院で浣腸した。その後も 3~4 日出ないことが多い。果汁プルーンなどあげてみたが効果なし。母乳も未だに 1 日 8 回も飲んでいて、水分はよく取っている。どうすればよいか。
- ・ 5 ヶ月、1 月前から下痢で先日、便を持って受診したが特に異常なしと言われた。その後も 6~7 回/日。黄色から緑色(水様)。お尻が少しただれている。機嫌よい。食欲ある。体重増えている。このまま様子を見てよいか。

相談員に受診するべきかの判断を求めてくる相談が特に多い。その中には受診しなくても大丈夫ですよ。という応えを待っていると思われる相談も多く、電話相談が 1 人で受診の判断を求められる母親の支えになっていると考えられる。

電話で受診の要否を判断することは難しいが、母に発熱や嘔吐の回数、機嫌等の症状やいつからか、薬はあるか等状況を確認し、総合して判断しながら対応についての助言をしている。

### 2) 「日常生活」 677 件 (11.2%)

「泣き」についての相談が 126 件 (18.6%) と最も多く、中でもずっと泣いているが大丈夫か、どうしたらよいかというものが 3 割と多かった。

(相談例)

- ・ 1 ヶ月、抱っこをやめると泣くので 10 時間以上は抱っこしている。母自身腱鞘炎になりそうである。あんまりぐずってばかりいるので可愛くない。イライラして疲れてしまったので夫の実家に預けた。
- ・ 3 ヶ月、双子の一方のみが夜間よく泣くので、夫が脳に障害があるのではないかといい、心配となる。
- ・ 原因がわからず泣き続け、ジュージューというのでジュースを与えるのだが手で払いのける。何を要求しているか分からず疲れてしまった。

1 日中泣きつづけている子どもにこれ以上どう対応したらよいか、育児に自信を無くし、疲れきってかけてくる母が多い。母も泣きながら相談をしてくることもあり、子どもが可愛くない、叩いてしまうという訴えもある。そんな

時、相談員はまず母のつらさをゆっくり聴き、母の育児が決して悪いのではないよと母をねぎらう対応をする。そうすることで、母自身が落ち着き、育児について少し自信を取り戻してくる場合も多い。

### 3) 「事故相談」653件(10.8%)

「誤飲・誤嚥」が306件(46.0%)と最も多く、そのうち1歳以下の子どもについての相談が約85%であった。

(誤飲したもの)

文具類(紙類、ビニール、風船、クレヨン、糊など)	43件
生活用品(化学製品、防虫剤等)	37件
医薬品(消毒薬、軟膏、錠剤等)	36件
プラスチック(包装用品、玩具の一部等)	34件
食品(古い食べ物、アルコール等)	23件
生活用品(非化学製品)	22件
洗剤	21件
たばこ	16件
電池	1件

実際に飲み込んだという相談は104件(34.0%)で、中でも薬の量を間違えた、紙を食べたが大丈夫かという内容が多かった。その他は舐めただけ、あった物が見当たらないので飲み込んだかもしれない、という相談であった。

受診したほうがよいかを尋ねてくる相談がほとんどだが、実際に受診をすぐに勧めた例は14件(4.6%)であった。

「転落」は981件(15.0%)で椅子(ソファ)や家具からの転落が8割をしめていた。

事故相談時には、環境整備の助言をし、事故の再発防止に努めている。

### 4) 「授乳」498件(8.5%)

「授乳方法」に関する相談が142件(28.5%)で最も多く、内容は授乳間隔や回数、授乳量に関するものが多かった。

(相談例)

- ・1ヶ月、ミルク栄養で現在4時間毎140ccあげているが、物足りない時もある様子、どのように増やせばよいか。
- ・0ヶ月、母乳を1回1~1.5時間くらい吸っている。足りないかと思いミルクをたすと吐く。オッパイの張りはよくて、母乳はよく出ている。
- ・3ヶ月、育児書では4時間おきに1400ccを5回と書いてあるが、無理に飲ませると吐く。

子どもが育児書どおりの授乳回数、間隔でないがこのままでよいかを確認してくる内容も多い。子どもには個性があり、育児書どおりでないことや授乳の仕方等をアドバイスすることで安心していくケースも多い。

5) 「食事に関する問題」 323 件 (5.5%)

離乳食の進め方や離乳食・幼児食を食べないといった相談が多く、子どもの年齢は1歳以下が88.2%であった。

「授乳」と「食事に関する問題」をあわせた栄養に関する相談は、825件で育児相談全体の13.6%であった。

(相談例)

- ・1歳、食事中に遊ぶので無理やり口にしたら手で払いのけられてしまった。自分のやったことに落ち込んでしまった。
- ・1歳6ヶ月、1日6回授乳している。卒乳しようと思うがやめれない。離乳食は2回食。ご飯は嫌がり、麺類ばかり。食べない時もある。
- ・1歳10ヶ月、食べ物をこねたりつぶしたりして遊ぶ。頭にきて怒ってしまう。いつまで続くのか。

6) 「性格、行動、社会性」 382 件 (6.3%)

「言うことを聞かない」が128件(33.5%)で最も多かった。

(相談例)

- ・1歳7ヶ月、すぐに手が出る。遊び場へ連れていっているが、他の子の手がでるのではないかと心配である。
- ・2歳、言うことを聞かせたい。仕事も家事も子どもの病気をあつて大変なのに、子どものやさしく接することなんてできない。
- ・3歳、食事の前にはおもちゃを片付けるよう言葉で誘導するが、片付けられない。最後には大きな声で叱ってしまう。

相談員からみると年齢相応の行動ではあるが、相談者としては、子どもの行動が気に入らないと育児にストレスをためている内容が多かった。このような相談では、まず相談者の思いを聴くということに心がけている。利用経験ある者からの相談が73.4%であることから、相談者の話を否定せず、聞いてもらえるという安心感からかけてきている者が多いと思われる。相談時間も15分以上のものが61.7%と長い傾向があった。

7) その他

虐待に繋がるカテゴリーとして「家族、人間関係」の中の「育児不安」、「家族内の人間関係」、「虐待・虐待予防」があるが、合計すると213件(3.5%)あった。相談者の中には精神科や心療内科に通院している人や、離婚調停中やDV等、家庭環境に課題を抱えるものもあった。

(相談例)

- ・2歳、多動なので、外へ連れ出せない。かわいそうという気持ちがあるが、疲れる。十分に愛している自信がない。母自身、心療内科へ通院中。
- ・3人の子の母。夫との喧嘩を子供の前でしてしまう。いけないと思うがつい言ってしまう。子どもにどう影響するか心配。
- ・夫の連れ子を叩いてしまうこともある。育児を支援してくれる人がいない。

相談例にもあげたが、「日常生活」や「授乳」「食事に関する問題」「性格、行動、社会性」に分類される相談の中にも、虐待に繋がりがねない内容もある。匿名による相談であるため、緊急性が高いと思われるケースでも基本的には相談者の訴えを受け止める。そして、地域の相談機関に繋がっているかの確認をし、地域の相談機関へも相談をしていくよう強く勧める対応をしている。中には誰にも相談できない状況に苦しみ、自身の苦しさを吐き出すことで落ち着くケースもある。

相談者の育児不安を聴き、育児支援をすることが、虐待予防に繋がると感じている。

## 6 相談結果について

電話相談は原則匿名で、1回きりの付き合いを前提にしているため、利用経験がある方の相談も基本的には終了とし、継続支援とはしていない。

しかし、緊急性が高く、地域での支援も検討してほしいケースについては、地域の保健機関へ情報提供をしている。

## 【まとめ】

- 1 相談総数は年々増加しており、県民の時間外電話相談に対する高いニーズを感じる。身近に育児を相談できる保健所、保健センター等が閉庁した後に相談窓口を開設する意義は大きく、育児支援の一つとして大きな役割を担っていると考えられる。
- 2 一方で相談があっても電話をしたが、相談中のため出ることができない応対不能件数も増えており、県民のニーズを充足できていない状況がみられる。今後は、電話回線の増設、開設時間の延長、そして相談員の増加といった相談体制の拡充について検討していく必要性を感じている。
- 3 利用者のほとんどが母親であった。相談内容の中には、日中、身近な地域の相談窓口で対応したほうが実際的、継続的な指導ができると考えられる内容もあったが、匿名であることや相談ニーズが生じたときにできるのが電話相談の良さでもある。必要なケースについては、市町村へ情報提供をしながら、連携を常に意識した相談体制の整備を心がけていきたい。
- 4 年々利用経験のある者からの相談が増加している。電話相談が利用者の安心への支援として定着してきたことが分かる。これは、相談者の思いをきち



んと受け止め、的確なアドバイスをしている結果であると考えられる。

- 5 孤立化しているといわれる育児環境の中、気軽に相談できる窓口として、電話相談は大きな役割を果たしている。相談内容は、現在の母子保健のニーズを凝縮していると考えられる。この相談情報を今後も継続的に分析し、地域の母子保健関係者に還元することで、地域の母子保健の向上に寄与していきたい。

資料

表1 市町村別の利用状況

	地域	件数	出生 1,000対	H16 出生数		地域	件数	出生 1,000対	H16 出生数
1	名古屋市	1,170	59.4	19,708	35	常滑市	36	98.9	364
2	岡崎市	375	100.7	3,723	36	弥富市	33	81.3	406
3	豊田市	363	85.8	4,229	37	田原市	31	59.4	522
4	春日井市	333	104.9	3,175	38	岩倉市	30	58.8	510
5	一宮市	279	78.6	3,550	39	扶桑町	29	84.1	345
6	豊橋市	261	74.4	3,507	40	長久手町	25	47.1	531
7	大府市	246	284.7	864	41	甚目寺町	23	46.4	496
8	刈谷市	218	119.0	1,832	42	幸田町	23	54.0	426
9	安城市	207	107.0	1,935	43	大治町	20	50.5	396
10	東海市	164	135.0	1,215	44	美浜町	19	96.0	198
11	半田市	160	136.8	1,170	45	武豊町	19	43.2	440
12	西尾市	142	142.3	998	46	豊山町	17	100.6	169
13	稲沢市	125	97.1	1,287	47	犬山市	16	26.1	612
14	日進市	120	140.1	853	48	南知多町	14	102.2	137
15	知多市	115	137.6	836	49	七宝町	12	56.3	213
16	豊川市	90	52.6	1,711	50	吉良町	12	62.2	193
17	知立市	89	110.4	806	51	新城市	10	28.3	353
18	尾張旭市	87	114.4	760	52	美和町	9	45.0	200
19	東郷町	84	181.8	462	53	小坂井町	8	48.8	164
20	豊明市	82	117.4	698	54	幡豆町	7	77.8	90
21	北名古屋市	81	85.8	944	55	音羽町	7	109.4	64
22	碧南市	79	99.2	796	56	大口町	6	24.0	250
23	小牧市	76	51.5	1,476	57	一色町	5	24.4	205
24	津島市	69	111.1	621	58	御津町	3	29.1	103
25	蒲郡市	52	80.5	646	59	春日町	2	32.3	62
26	阿久比町	52	268.0	194	60	飛島村	1	27.0	37
27	東浦町	51	114.1	447	61	設楽町	0	0	15
28	清須市	49	85.4	574	62	東栄町	0	0	17
29	江南市	48	49.3	974	63	豊根村	0	0	7
30	三好町	47	59.5	790	愛知県下	愛知県下	5,902	83.8	70,417
31	瀬戸市	46	46.0	1,001					
32	愛西市	45	85.2	528					
33	蟹江町	41	111.7	367					
34	高浜市	39	84.8	460					
					他県	100			
					不明	476			
					合計	6,478			

表2 相談経路

件数(%)

経路	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
利用経験あり	105(2.2)	501(9.1)	2290(37.1)	3124(48.2)
市町村(保健福祉)	2,492(51.4)	2,500(45.6)	1414(22.9)	854(13.2)
母子健康手帳	128(2.6)	322(5.9)	517(8.4)	661(10.2)
保健所	475(9.8)	667(9.8)	565(9.1)	376(5.8)
医療機関	328(6.8)	63(1.1)	377(6.1)	303(4.7)
友人・知人	66(1.4)	113(2.1)	119(1.9)	102(1.6)
ホームページ	25(0.5)	36(0.7)	74(1.2)	76(1.2)
院内	53(1.1)	8(0.1)	80(1.3)	69(1.1)
子育て支援センター	37(0.8)	16(0.3)	35(0.6)	24(0.4)
幼稚園・保育園	52(1.1)	667(12.2)	21(0.3)	19(0.3)
学校	3(0.1)	49(0.9)	5(0.1)	11(0.2)
児童相談センター	19(0.3)	16(0.4)	10(0.2)	7(0.1)
その他	155(3.2)	204(3.7)	220(3.6)	175(2.6)
不明	908(18.7)	430(7.8)	448(7.3)	677(10.4)
合計	4,846(100)	5,488(100)	6,175(100)	6,478(100)

13年11月から15年3月まで

表3 相談者の続柄

相談者続柄	件数	(%)
母	5,706	(88.1)
本人	255	(3.9)
配偶者	247	(3.8)
父	87	(1.3)
祖父母等	53	(0.8)
きょうだい	7	(0.1)
専門家等	1	(0.02)
その他	20	(0.3)
不明	102	(1.7)
合計	6,478	(100.0)

表4 相談対象者

相談対象者	件数	(%)
子ども	6,095	(94.1)
本人	257	(4.0)
孫・甥・姪	50	(0.8)
配偶者	45	(0.7)
きょうだい	9	(0.1)
その他	12	(0.2)
不明	10	(0.1)
合計	6,478	(100.0)

表5 時間帯と所要時間

件数(%)

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	未分類	合計
5分未満	278 (15.7)	285 (17.8)	315 (20.4)	310 (20.2)	2 (12.5)	1,190 (18.4)
5～14分	1,011 (57.0)	946 (59.0)	857 (55.4)	892 (58.1)	11 (68.8)	3,717 (57.4)
15分～29分	380 (21.4)	282 (17.6)	271 (17.5)	257 (16.7)	3 (18.7)	1,193 (18.4)
30分～44分	79 (4.5)	62 (3.9)	74 (4.8)	64 (4.2)	0 (0.0)	279 (4.3)
45分～59分	20 (1.1)	18 (1.1)	18 (1.2)	10 (0.7)	0 (0.0)	66 (1.0)
60分以上	7 (0.3)	11 (0.6)	12 (0.8)	3 (0.1)	0 (0.0)	33 (0.5)
全体	1,775 (100.0)	1,604 (100.0)	1,547 (100.0)	1,536 (100.0)	16 (100.0)	6,478 (100.0)

表6 曜日別状況

件数(平均件数)

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	月曜日	全体
H15年度以前 (相談総数)	2,802 (17.3)	3,126 (18.1)	3,341 (19.5)	3,037 (17.6)	502 (10.7)	1,684 (15.4)	14,492 (20.0)
H16年度 (相談総数)	1,264 (28.7)	1,423 (29.0)	1,349 (28.1)	1,277 (25.5)	862 (16.9)	/	6,175 (25.5)
H16年度 (総着信数)	1,880 (42.7)	2,161 (44.1)	1,758 (36.6)	1,802 (36.0)	1,313 (25.7)		8,914 (36.8)
H17年度 (相談総数)	1,359 (30.2)	1,438 (28.8)	1,349 (27.5)	1,267 (25.9)	1,065 (20.9)		6,478 (26.5)
H17年度 (総着信数)	2,275 (50.1)	2,520 (50.4)	1,994 (40.7)	1,818 (37.1)	1,530 (30.0)		10,137 (41.5)

H15.4以前は月曜日～金曜日で実施

H15.5以降は火曜日～土曜日で実施

表7 相談分類

相談分類	件数	(%)
育児相談	6,071	(93.7)
母性相談	278	(4.3)
女性の体と心の相談	78	(1.2)
思春期相談	4	(0.1)
その他	47	(0.7)
合計	6,478	(100.0)

表8 育児相談の曜日別状況

件数(%)

内容	全体	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
子どもの病気、手当て	2,448(40.3)	495(39.2)	547(40.6)	481(37.8)	442(37.3)	483(48.4)
日常生活	677(11.2)	153(12.1)	146(10.8)	143(11.3)	143(12.1)	92(9.2)
事故相談	653(10.8)	109(8.6)	144(10.7)	160(12.4)	127(10.7)	113(11.3)
授乳	428(7.0)	90(7.1)	83(6.2)	100(7.8)	89(7.5)	66(6.6)
食事に関する問題	397(6.5)	85(6.7)	78(5.8)	70(5.5)	106(9.0)	58(5.8)
性格、行動、社会性	382(6.3)	86(6.8)	109(8.1)	74(5.8)	78(6.6)	35(3.5)
発育・発達	322(5.3)	60(4.7)	76(5.6)	73(5.7)	73(6.2)	40(4.0)
家族、人間関係	269(4.4)	68(5.4)	49(3.6)	64(5.0)	56(4.7)	32(3.2)
予防接種	223(3.7)	52(4.1)	50(3.7)	44(3.4)	33(2.8)	44(4.4)
教育	95(1.6)	28(2.2)	22(1.6)	24(1.9)	15(1.3)	6(0.6)
アレルギーに関する問題	50(0.8)	11(0.9)	8(0.6)	15(1.2)	5(0.4)	11(1.1)
社会資源の活用	41(0.7)	13(1.0)	11(0.8)	8(0.6)	4(0.3)	5(0.5)
虐待・虐待予防	31(0.5)	8(0.6)	9(0.7)	10(0.7)	3(0.3)	1(0.2)
その他	55(0.9)	8(0.6)	15(1.0)	10(0.7)	10(0.8)	12(1.2)
計	6,071(100.0)	1,266(100.0)	1,347(100.0)	1,276(100.0)	1,184(100.0)	998(100.0)

表10 育児相談(6,071件)の内容

内容	件数	(%)	主な内容(件)
子どもの病気、手当て	2448	(40.3)	・かぜの症状 716 ・消化器症状 563 ・皮膚症状 322 ・感染症 173 ・耳鼻咽喉症状 104 ・眼科症状 79 ・泌尿症状 59
日常生活	677	(11.2)	・泣き 126 ・睡眠 83 ・しつけ 81 ・トイレトレーニング 67 ・入浴・清潔 56 ・遊び・遊ばせ方 40 ・居住・環境 21
事故相談	653	(10.8)	・誤飲・誤嚥 306 ・転落 98 ・転倒 91 ・衝突 70 ・熱傷 18 ・はさむ 11 ・交通事故 7 ・溺水 3
授乳	428	(7.0)	・授乳方法 141 ・吐乳・溢乳 70 ・乳汁を飲まない 63 ・断乳 49
食事に関する問題	397	(6.5)	・離乳食・幼児食 117 ・飲まない・食べない 109 ・食事のしつけ 54 ・離乳準備 35 ・かまない 17 ・食べ過ぎる 5
性格、行動、社会性	382	(6.3)	・言うことを聞かない 128 ・習癖 42 ・赤ちゃん返り 40 ・いじめ 38 ・友達と遊べない 27 ・落ち着きがない 22
発育・発達	322	(5.3)	・言語発達 75 ・運動発達 61 ・発育の評価 54 ・精神発達 49 ・体重増加不良 17 ・口腔・歯 12 ・低身長 4
家族、人間関係	269	(4.4)	・育児不安 99 ・家族内の人間関係 83 ・近所との付き合い方 37 ・職場関係 10
予防接種	223	(3.7)	・副反応 107 ・接種時期・方法 58 ・効果 22 ・海外渡航 2
教育	95	(1.6)	・幼稚園・保育園 50 ・小学校 32 ・中学校 3
アレルギーに関する問題	50	(0.8)	・食物アレルギー 20 ・アレルギー疾患全般 9 ・アトピー性皮膚炎 7 ・気管支喘息 4
社会資源の活用	41	(0.7)	・子育て支援 29
虐待・虐待予防	31	(0.5)	・子どもへの虐待 14 ・親(家族)への支援 14
その他	55	(0.9)	・療育・療養に関する相談 7
計	6,071	(100.0)	

編集 あいち小児保健医療総合センター  
保健センター保健室  
〒470-8710 大府市森岡町尾坂田1番2  
0562-43-0500 内線4042  
発行 平成18年4月